

国 語

1 学習指導と評価の改善・充実

～平成16年度北海道公立学校学習状況調査分析結果と指導上の改善点～

(1) 調査の概要

ア 高等学校「国語」について、道内の高等学校の第3学年約2,400人を対象に実施した。併せて、生徒及び教師に対する質問紙調査を実施した。

問題は国立教育政策研究所が実施した「平成14年度高等学校における教育課程実施状況調査」の問題の中から選択し、作成した。

イ 「国語」における問題の種類と問題数

区分	領域	出題のねらい	問題数
表現 (文字言語)	理解	2枚の地図を比較してその違いについて説明する	1
	表現	語句を適切に使って自分の考えを書く	1
理解 (現代文)	理解	文章の構成や展開に注意して考えや考えの進め方、強調点をとらえる	3
	理解	文章の叙述に即して要旨を的確にとらえる	1
	理解	文章の内容や表現上の特色に注意して筆者の意図をとらえる	1
	表現	文章を読んで興味・関心を持ったことについて筋道を立てて書く	1
理解 (古文)	理解	主題の理解にかかわる重要語句をとらえる	1
	理解	文章の叙述に即して内容をとらえる	1
	理解	表現上の特色に注意して内容をとらえたり、文章の主題について自分の考えを深めたりする	2
言語事項	言語事項	文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりする	4
	言語事項	語句の意味、用法などを理解する	2
	言語事項	訓読のきまりなどを理解する	2
	言語事項	国語の特質としての敬語表現を理解する	2

(2) 内容・領域別の状況

ア 概要

本道の通過率は、すべての内容・領域において、全国の通過率及び設定通過率と比較して上回る又は同程度となっている。

1 通過率：問題ごとの正答、準正答数の合計を解答者数の合計で割った数値

2 設定通過率：学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけ、学習指導要領作成時に想定された学習活動が行われた場合の通過率がどの程度になると考えられるかを示した数値

イ 結果の特色

領域等	〔ほぼ身に付いていると考えられる力〕	〔十分身に付いていないと考えられる力〕
表現	・文章を読んで興味・関心を持ったことについて筋道を立てて書く力	・語句を適切に使って自分の考えを書く力
理解	・現代文の文章の構成や展開に注意して強調点をとらえたり、古典の文章の叙述に即して内容をとらえたりするなど、文章の要旨をおおまかに把握する力	・文章の展開に注意して考えの進め方をとらえたり、文章の内容や表現上の特色に注意して筆者の意図をとらえたりする力 ・古典の文章を読み取り、その主題について、自分の考えを深めること
言語事項	・語句の意味を理解したり、敬語表現を理解したりする力	・文脈に即して漢字を正しく書く力
質問紙調査	・「本を読むのが好きだ」と答えた生徒に比べ、「本をよく読む方だ」と答えた生徒は少ない。	

(3) 調査結果を踏まえた改善の方向

各学校においては、下に示した「平成16年度北海道公立学校学習状況調査の結果に基づく指導上の工夫・改善」や次ページ以降に示した具体的な取組を参考にすることで、調査結果から明らかになった、自分の考えを書く力、筆者の考えの進め方や筆者の意図をとらえる力を一層高めることができるよう、各学校の実態に即し、指導の工夫・改善を図ることが重要である。

また、学習指導要領の目標が一層徹底されるよう、平成16年度北海道公立学校学習状況調査では扱わなかった領域である「話すこと・聞くこと」に関する指導の改善の方策の具体例についても掲載したので、各学校の指導の改善に役立てていただきたい。

なお、本調査は、平成元年に告示された学習指導要領に基づく教育課程の実施状況についての調査であることから、領域は「表現」、「理解」となっているが、現行の学習指導要領では、領域が「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の3領域に改められたことから、以降は、現行の学習指導要領で示されている領域に置き換えて記述する。

平成16年度北海道公立学校学習状況調査の結果に基づく指導上の工夫・改善

書くこと

授業において、語句・語彙指導や「考えること」に関する指導を取り入れるなどして、自分の考えを書く力を一層高めること。

- ・日ごろから辞書を引く習慣を付けるなど、言葉の意味や使い方を確認させる語句・語彙の指導を充実させること。
- ・いくつかの語句を指定して文章を書かせたり、独自の表現を用いて自分の考えを文章化するなど、書くことの指導を工夫すること。
- ・書くことを通して、豊かな着想や多面的な発想をもたせ、ものの見方や考え方を深化・拡充させるというような、「考えること」に関する指導を重視すること。

読むこと

授業において、文章の叙述に即した読みの指導を重視し、文章の構成や展開を踏まえて、筆者の考えの進め方や筆者の意図をとらえる力を高めること。

- ・各段落における重要語句を抜き出し、相互の関連をとらえることができるようにすること。
- ・接続詞に注目することで、文章の構成や展開を理解し、書き手の主張や考えの中心がどこにあるかを把握できるようにすること。

授業において、多様な言語活動を取り入れ、古典に対する興味・関心を喚起しながら、古典の文章を読み取る力を高めるとともに、読み取った内容に即して自分の考えを深め、自分の言葉で表現する力を高めること。

- ・音読や暗唱を積極的に取り入れるなど、古典の調子（リズム）に慣れさせる指導を工夫すること。
- ・関心をもったことなどについて調べ、話し合ったり文章にまとめさせたりする学習を取り入れるなど、主体的に古典にかかわらせるようにすること。

言語事項

学校生活や日常生活のあらゆる場で漢字に注意を向けさせ、その習熟を図ること。

- ・国語の指導計画の中での言語事項の位置付けを明確にし、「書くこと」や「読むこと」の学習指導でも、字体や音訓、送り仮名の似通った漢字、同音異義語や同訓異字などを系統的に扱うこと。
- ・国語の授業だけに限らず、他の教科等の授業や学校生活全般においても漢字を使うよう心がけることを指導すること。

質問紙調査

読書機会を積極的に設定し、読書のきっかけをつくること。

2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

～平成16年度北海道公立学校学習状況調査分析結果で明らかになった課題の解決に向けた具体的な取組～

(1) 「書くこと」に関する指導の改善・充実

ア 単元における指導と評価の計画の例

科目名	国語総合	単元名	意見文を書く〔書くこと〕	
単元の目標	(1) 自分の考えを伝えるための効果的な表現を考えながら、目的や相手に応じて、工夫して書こうとする態度を身に付ける。(関心・意欲・態度) (2) 自分の考えの根拠を明らかにして、題材となる文章(テキスト)の内容を踏まえた意見を、筋道を立てて書く。(書く能力) (3) 意見文に適した文章の構成を理解するとともに、自分の意見を効果的に伝えるための語句の使い方を身に付ける。(知識・理解)			
評価の観点	関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解	
単元の評価規準	テキストを読み、自分の考えを文章にまとめたり、効果的な表現を考えて書いたりしようとしている。	自分の考えの根拠を明らかにして、テキストの内容を踏まえた意見を、筋道を立てて書いている。	意見文に適した文章の構成を理解している。 自分の意見を効果的に伝えるための語句の使い方を身に付けている。	
配当時間	4時間			
各時間の指導と評価の計画				
時	各時間の目標	学習活動	学習活動における 具体的評価規準	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> 意見文の書き方を理解する。 意見文を書くためのテキストを読み、内容を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習プリントを用い、文章構成の基本形を理解する。 「平成17年度『国語に関する世論調査』の結果について」を読み、現代人の「敬語」に関する意識を、ワークシートに整理する。 	「知識・理解」 意見文に適した文章の構成を理解している。 「知識・理解」 自分の意見を効果的に伝えるための語句の使い方を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述状況及び記述内容の点検
2	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を書くテーマを設定し、根拠を明らかにして自分の意見を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記入内容をもとに話し合い、テーマを設定する。 書く内容、順序、使用する語句等を考えて、意見文を書く。 	「関心・意欲・態度」 単なる感想にとどまらず、自分の考えを文章にまとめようとしている。 「書く能力」 自分の考えの根拠を明らかにして、意見文を書いている。	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況の観察 意見文の記述内容の点検
3	<ul style="list-style-type: none"> 意見文の分析を行い、意見文としての論理的な構成について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ内で意見文を発表し合い、優れている点と不十分な点を指摘し、不十分な点の改善を検討する。(自己評価、相互評価) 意見文として適切な構成になっているかを確認する。 	「関心・意欲・態度」 論理的な意見文の構成について考えようとしている。 「知識・理解」 文章構成の型や語句の使い方を理解し、自己評価や相互評価に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況の観察 自己評価票、相互評価票の内容の点検
4	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な表現に注意しながら、筋道を立てて意見文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を踏まえ、意見文を推敲する。 完成した意見文をグループ内で発表し、評価し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【言語活動】(3・4時) 意見文について、自己評価や相互評価を行う。 </div>	「関心・意欲・態度」 効果的な表現を考えながら自分の考えを文章にまとめようとしている。 「書く能力」 文章の構成や語句の使い方など、効果的な表現に注意しながら、筋道を立てて意見文を書いている。	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況の観察 意見文の記述内容の点検 自己評価票、相互評価票の内容の点検

イ 各時間の指導と評価の実際

第 2 時 の 目 標	意見文を書くテーマを設定し、根拠を明らかにして自分の意見を書く。	
本時の評価の観点 及び 評 価 規 準	<p>「関心・意欲・態度」 単なる感想にとどまらず、自分の考えを文章にまとめようとしている。</p> <p>「書く能力」 自分の考えの根拠を明らかにして、意見文を書いている。</p>	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 の 実 際
<p>ワークシートの記入内容をもとに話し合い、テーマを設定する。</p> <p>・グループに分かれて話し合い、その結果を踏まえて各自のテーマを設定する。</p>	<p>・次の点に留意して話し合うよう指導する。 記入内容が、根拠のない、単なる感想になっていないかを確認し合うこと。 不十分な点については、指摘するだけでなく、改善案も提示すること。 設定しようとしているテーマが意見文のテーマとして適切かどうかを確認し合うこと。</p> <p>・話し合いの結果を踏まえ、意見文のテーマとして適切な内容を設定させる。</p>	<p>「関心・意欲・態度」</p> <p>・自分の考えが、根拠に乏しい思いつきや単なる感想になっていないかを、ワークシートの記述状況や話し合いの際の観察から評価する。</p> <p>— 【評価Cの生徒への指導の手だて】 — 感想しか書けない生徒に対しては、その感想を思いついたテキストの箇所を指摘させ、「から、と考えました」といった文章にまとめさせる。</p> <p>— 【評価Cの生徒への指導の手だて】 — 意見が発表できない生徒に対しては、他の生徒のワークシートの不十分な点を教師が指摘し、なぜ不十分なのかについて発言させる。</p> <p>— 【評価Cの生徒への指導の手だて】 — テーマが設定できない生徒に対しては、話し合いの時に提示された内容を参考に、生徒が興味・関心をもった内容や疑問点の中から、テーマとして適切なものを選択させる。</p>
<p>書く内容、順序、使用する語句等を考えて意見文を書く。</p>	<p>・次の点に留意して意見文を書くよう指導する。 文章の内容が、根拠のない、単なる感想にならないようにすること。 論理的かつ相手に正確に伝わる意見文とするため、1時間目に配付した学習プリントを参考にして、語句や文章構成についてよく考えること。</p> <p>・論理的な構成となるよう、書く順序を明示したワークシートを活用させる。</p>	<p>「書く能力」</p> <p>・テキストのどの箇所から読み取った意見であるかが明確に書かれているかを、授業後に提出された意見文の記述内容から評価する。</p> <p>— 【評価Cの生徒への指導の手だて】 — 意見が書けない生徒に対しては、まず、語句を指定して短文を書かせ、それに少しずつ内容を補足して文章を完成させる。</p>

学習プリント 単元名「意見文を書く」 組 氏名

文章の構成

論理的な文章を書くためには、論理を構成し、文章をどのような順序で並べるのかについて考えることが大切です。

「結論」を置く位置の違いなどをとくに、文章構成を確認してみましょう。

双括型 最初と最後に「結論」を配置する構成

(一般的に論説・評論に適しているとされる。)

頭括型 最初に「結論」を配置する構成

(一般的に論説・評論に適しているとされる。短い文章に適する。)

尾括型 最後に「結論」を配置する構成

(一般的に説明に適しているとされる。)

無括型 主張を明確にしない構成

(一般的に随筆に適しているとされる。情緒的な文章に適する。)

順次法型

事実・事件を時間の経過など順次性にしたがって配置する構成 (一般的に記録・報告に適しているとされる。)

語句の使い方

論理的な文章を書くためには、文章と文章をつないだり、論理を円滑に展開させたりする語句を適切に用いることが大切です。

用途に応じた「語句の使い方」を確認してみましょう。

紹介 「三つのことを説明します。」「二つの例をあげてみましょう。」「このような考え方のほかに、とがあります。」

問いかけ 「何を意味するのでしょうか。」「この場合はどうでしょうか。」「〜と考えたのは、だからです。」「〜と書かれているからです。」

定義 「前者を、後者を」といいます。

まとめ 「このようなことから〜がわかります。」「つまり、〜なのです。」「理由を示すつなぎの語句」「なぜなら」「というのには」「それは」

仮定を示すつなぎの語句 「仮に」「もし」「〜だとすれば」

理由を示すつなぎの語句 「なぜなら」「というのには」「それは」

結論を示すつなぎの語句 「つまり」「したがって」「以上のことから」「ただし」「もっとも」「かならずしも」

条件を示すつなぎの語句

ワークシート 単元名「意見文を書く」 組 氏名

テーマの設定

「平成17年度『国語に関する世論調査』の結果について」を読み、興味・関心をもったことや疑問に感じたことを、理由を明らかにして書いてみよう。

興味・関心をもったこと、疑問

その理由

話し合いの結果を踏まえ、自分が意見文を書くテーマを決めよう。

自分が意見文を書くテーマ

意見文の要素・構成

意見文の要素となる内容をまとめよう。

A テーマの設定理由

B テーマに関する自分の意見

C 自分の意見の根拠

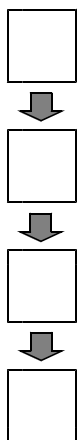
D 結論

文章の構成を考えよう。

文章の構成

型

要素の順序



(2) 「話すこと・聞くこと」に関する指導の改善・充実

ア 単元における指導と評価の計画の例

科目名	国語表現	単元名	言葉で伝え合おう〔話すこと・聞くこと〕	
単元の目標	(1) 相手の立場や考えなどに配慮しながら自分の考えをもち、論理的に述べようとする態度を身に付ける。(関心・意欲・態度) (2) 相手の考えを尊重しながら、自分の考えを論理的に述べる。(話す・聞く能力) (3) 目的や場に応じた適切な話し方について理解する。(知識・理解)			
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	知識・理解	
単元の評価規準	相手の立場や考えなどに配慮しながら自分の考えをもち、論理的に述べようとしている。	相手の考えを尊重して話し合っている。 自分の考えを論理的に述べている。	目的や場に応じた適切な話し方について理解している。	
配当時間	3時間			
各時間の指導と評価の計画				
時	各時間の目標	学習活動	学習活動における 具体的評価規準	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> 様々な話し合いの方法について理解する。 資料を読み、自分の考えをもち、自分の考えをもち。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な話し合いの方法の特徴をまとめる。 話し合いや発表をする際の留意点を整理する。 図表データ(A町における平成17年度予算)について考察し、ワークシートに自分の考えを整理する。 	「知識・理解」 目的や場に応じて、自分の考えを相手に効果的に伝えるための様々な方法について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ノートの記述内容の点検
2	<ul style="list-style-type: none"> 資料から読み取った内容について、自分の考えをもち、積極的に話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に整理したワークシートに基づき、5～6人のグループで資料の内容について話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【言語活動】 資料から読み取った内容について、自分の考えをもち、話し合う。 </div> <ul style="list-style-type: none"> グループ内の意見をまとめ、内容を整理して発表用のメモを作成する。 	「関心・意欲・態度」 話し合いをするとき、相手の考えなどを的確に聞き取りながら、根拠を示して自分の考えを述べようとしている。 「話す・聞く能力」 相手の考えを踏まえながら、情報を整理し論点を明確にして自分の考えを述べている。	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況の観察 ワークシートの記述状況及び記述内容の点検
3	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで話し合った内容について、筋道を立てて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各グループから、話し合いの内容を発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【言語活動】 根拠を明確にし、筋道を立てて発表を行う。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いや発表をする際の留意点に基づき、評価票を用いて、単元の自己評価、相互評価を行う。 	「話す・聞く能力」 発表をするとき、自分の意見の根拠を箇条に分け、考えの順序をたどって説明するなど、相手にわかりやすく話す工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況の観察 発表用のメモ及び自己評価票、相互評価票の内容の点検

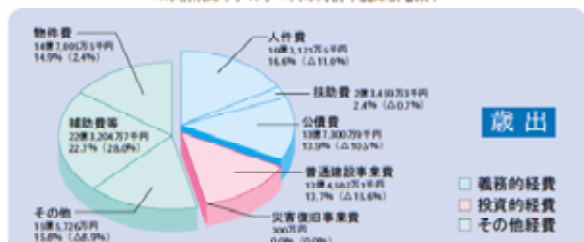
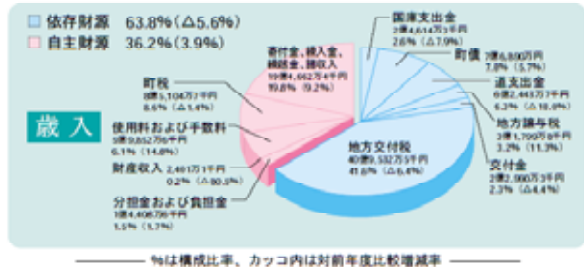
イ 各時間の指導と評価の実際

<p>第 2 時 の 目 標</p>	<p>資料から読み取った内容について、自分の考えをもって積極的に話し合う。</p>	
<p>本時の評価の観点 及び 評 価 規 準</p>	<p>「関心・意欲・態度」 話し合いをするとき、相手の考えなどを的確に聞き取りながら、根拠を示して自分の考えを述べようとしている。</p> <p>「話す・聞く能力」 相手の考えを踏まえながら、情報を整理し論点を明確にして自分の考えを述べている。</p>	
<p>学 習 活 動</p>	<p>指 導 上 の 留 意 点</p>	<p>評 価 の 実 際</p>
<p>前時に整理したワークシートに基づき、5～6人のグループで資料の内容について話し合う。</p> <p>【言語活動】 資料から読み取った内容について、自分の考えをもって話し合う。</p> <p>グループ内の意見をまとめ、内容を整理して発表用のメモを作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が明確な目的を持って授業に臨めるよう、本時のねらいを確認する。 自分の考えを説明するときには、資料の中から根拠をはっきりと示すこと。 相手の考えを尊重しながら、自分の考えを述べるようにすること。 ・グループ内の話し合いが活発化するよう、机間指導を行う。 ・グループとしての意見を明確にするとともに、意見の根拠を箇条に分け、考えの順序をたどって、聞く側が理解しやすいように説明することができるメモを作成するよう指導する。 ・次時の発表の際には、メモを読むのではなく、メモにまとめたことを説明する気持ちで発表するよう助言する。 	<p>「関心・意欲・態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの際、自分の考えを根拠をもって述べようとしているかを、観察して評価する。 ・授業後に提出させたワークシートの内容から相手の考えなどを的確に記録しているかを点検して評価する。 <p>— 【評価Cの生徒への指導の手だて】 —</p> <p>相手の考えに注意を向けることができない生徒に対しては、話し合い全体ではなく、一人の生徒に絞って発言内容をメモするように助言する。</p> <p>「話す・聞く能力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに整理してある自分の考えを、論点の明確さや主張の妥当性などに注意しながら根拠を示して論理的に述べているかどうかを、話し合いの際の観察から評価する。 ・相手の考えに対する自分の立場を明確にし、根拠をもって自分の考えを述べているかどうかを、話し合いの際の観察から評価する。 <p>— 【評価Cの生徒への指導の手だて】 —</p> <p>自分の考えを論理的に述べることができない生徒に対しては、まず、ワークシートを参考にし、資料のどこに着目したかを確認させる。</p> <p>— 【評価Cの生徒への指導の手だて】 —</p> <p>自分の考えだけを主張する生徒に対しては、相手の考えをどう思うかについて、自分の意見とその理由を述べさせてみる。</p> <p>*何をどのように読み取ったかは 評価の対象としない。</p>

平成17年度予算 155億2,738万3千円

一般会計は98億4千7百万円

「A 町第2期行政改革実施計画」による歳出抑制措置により、「人件費」全体で△2億191万円内の減額(△11.0%)、また、各種負担金・補助金の見直し(廃止31件、減額74件、増加22件、新規6件)により5千936万円の減額となりました。



ワンポイント

● 依存財源とは、国庫補助金等交付金、地方交付税、交付金、地方譲与税、通支差金など。国庫補助金等交付金は、国の政策に基づき交付される。地方交付税は、地方公共団体の財政を安定させるため交付される。交付金は、国の政策に基づき交付される。地方譲与税は、地方公共団体の財政を安定させるため交付される。通支差金は、地方公共団体の財政を安定させるため交付される。

● 義務的経費とは、国民健康保険、老人保険、介護保険など。投資的経費とは、道路、下水道、公園、体育館など。その他経費とは、その他。ホームページアドレス: <http://www.town.hokkaido.jp/yakubu/>

平成17年度予算

特別会計	企業会計	一財会計
国民健康保険 11億4,544万7千円 (45.9%)	病院事業 11億9,472万円 (Δ0.1%)	98億4,700万円
下水道 8億2,000万円 (20.9%)	上水道事業 980万9千円 (Δ3.1%)	特別会計
老人保険 10億3,026万5千円 (Δ3.4%)	特別会計-企業会計の内訳	44億8,138万2千円
土地区画整理 4億2,810万円 (Δ17.9%)	カブコ内は対前年度比較増減率	企業会計
介護保険 10億5,367万3千円 (8.2%)		11億9,900万円
		合計
		155億2,738万3千円

歳出の主な内容

1. 議会費	7,610万円	ふるさと興進振興事業	5,500万円
2. 総務費	14億8,763万円	団体等とらさと農道2路線	1億1,900万円
3. 民生費	7億7,838万円	高齢者福祉推進事業1路線	3,040万円
4. 衛生費	7億6,439万円	森林整備対策事業	3,830万円
5. 労働費	9,668万円	造林事業(新植・保育)	8,125万円
6. 農林水産業費	16億7,576万円	森林整備活動支援事業	4,830万円
7. 消防費	3億7,734万円	7. 農工費	2億3,617万円
8. 土木費	7億7,113万円	オートキャンプ場車庫増設事業	1,165万円
9. 教育費	5億1,933万円	中小企業展開融資貸付	1,400万円
10. 災害復旧費	300万円	第3セクター資金貸付金	4,000万円
11. 公債費	1億2,300万7千円	産工育成事業	1,694万円
12. 歳入	155億2,738万3千円	8. 土木費	7億7,113万円
13. 歳出	155億2,738万3千円	町営住宅増設事業(団地1棟8戸) 1億4,575万円	
14. 職員費	14億3,746万円	公園整備事業	497万円
15. 予備費	2,000万円	公園整備事業	1,820万円

ワークシート(話し合い用)

「図表データの読み取りに基づく話し合い」

組番氏名()

A町の「平成17年度予算」に関する資料を見て、わかることや疑問に思ったことを整理し、町財政の在り方について、グループで話し合ってみよう。

個人	グループ
資料	資料
意見・疑問など	意見・疑問など
歳入の円グラフ 歳出の主な内容 5. 労働費 ・冬期雇用対策事業 6. 農林水産業費 ・中山間地域等直接支払交付金事業 特別会計 ・下水道費	歳出の円グラフ ・人件費 ・補助費等、その他 特別会計 ・国民健康保険 ・老人保険 ・介護保険
・自主財源が随分少ないことと依存財源が大幅に減額になっていることがわかった。 ・この事業はどのようなことをしているのか。 ・歳出の中で金額がいちばん多いが、町にとってどのようなメリットがある事業なのか。 ・なぜ、20%以上も増加しているのか。	・歳出抑制措置により、2億円以上の減額。給料削減や、退職者の増加が考えられる。 ・合わせて歳出の約40%を占めているが、ひとまとめにしてしまうと何に使っているか判らず、町民は不安ではないか。 ・老人保険が減少しているのに、介護保険が増加しているのはどうしてか。

